



## 加藤巍山

### プロフィール

1968年 東京・本所両国に生まれる。現在埼玉県在住

高村光雲より5代。

25歳の時に仏像彫刻の世界に入り、13年間の修行を経て独立。高村光雲が広めた星取り法を用いて儀軌に準拠した仏像を制作する一方、日本の古典や歴史、仏教や神話を題材とした彫刻作品を制作。

歴史や伝統、文化、民族に根差した「日本の美意識」と「仏師」であることに立脚しながら祈りの根源を探求し普遍的な美を求む。

### 主な個展

2025 Timeless Dialogues / 大阪・関西万博 EXPO2025

2025 Fine Art Asia Hong Kong 2025

2024 「Printemps Asiatique Paris 2024」展（その他チャリティ活動など）

2023 「天地開闢／加藤 巍山」展（アートフェア東京 2023 YUMEKOUBOU GALLERY ブース／東京国際フォーラム）

2021 「畏怖／加藤 巍山 展」（カホ・ギャラリー／京都）

2020 〈瑞光〉 - 新しい時代の兆し- チャリティプロジェクト（銀座蔦屋書店）

2019 「示現／加藤 巍山 展」（日本橋タカシマヤ X ギャラリー）

2017 「驚異の超絶技巧! 展」三井記念美術館（東京）、岐阜県現代陶芸美術館（岐阜）、山口県立美術館（山口）、富山県水墨美術館（富山）、あべのハルカス美術館（大阪）

2016 「白隠展」（東北歴史博物館）

2011 〈縁〉 仏像奉納プロジェクト（ 仏師・三浦耀山氏とともに東北の被災地へ祈りと鎮魂の仏像を奉納する活動 ）

2008 タカシマヤ（日本橋、横浜、大阪、京都、JR 名古屋）、三越（日本橋本店）にて展覧会